

平成16年木材（用材）需給見通しの見直しの概要

1 見直しの趣旨

本年3月に作成した「平成16年木材（用材）需給見通し」（以下「当初見通し」という。）について、本年上半期の需給実績及び下半期の需給動向等を勘案し、見直しを行った。

2 見直しの概要

製材用の需要については、平成16年の新設住宅着工戸数、特に木造着工戸数等が前年をわずかに上回って推移していることなどから、前年比0.1%増になるものと見通される。

合板用の需要については、国内製造及び合板の輸入とも増加するものと見込まれることから、前年比7.7%増になるものと見通される。

パルプ・チップ用の需要については、紙・板紙生産量が前年より増加する中で、工場残材の供給量が若干減少するものと見込まれることなどから前年比1.6%増になるものと見通される。

その他用（集成材等）の需要については、集成材に対する安定した需要及び新設住宅着工戸数が前年をわずかに上回って推移していることなどから、前年比6.4%増になるものと見通される。

この結果、総需要量は、当初見通しを上回る8,895万 m^3 程度（前年比2.0%増）になるものと見通される。

なお、供給面では国産材は1,663万 m^3 程度（前年比3.0%増）、輸入材は7,233万 m^3 程度（前年比1.8%増）になるものと見通される。

木材（用材）の需給の実績と見直し

（別添）

（単位：千m3）

年次	需 要					供 給												
	総 数	製材用	合板用	パルプ・チップ用	その他用	総 数	国 産 材			工場残材	輸 入 材							
							総 数	丸太	林地残材		総 数	丸太	製材	合単板	チップ	パルプ	その他	
平成2年	111,160	53,887	14,546	< 7,336 > 41,344	1,383	111,160	29,367	29,300	67	< 7,336 >	81,793	33,861	12,598	4,707	20,252	9,721	654	
3年	112,202	52,230	14,216	< 7,162 > 44,245	1,511	112,202	27,999	27,938	61	< 7,162 >	84,203	32,150	12,868	5,016	23,462	9,878	829	
4年	108,530	50,551	13,800	< 6,752 > 42,760	1,419	108,530	27,165	27,114	51	< 6,752 >	81,365	30,350	12,424	4,899	22,518	10,405	769	
5年	108,383	51,159	14,533	< 6,639 > 40,894	1,797	108,383	25,597	25,570	27	< 6,639 >	82,786	27,714	14,445	6,642	21,829	10,972	1,184	
6年	109,501	51,001	14,099	< 6,542 > 42,375	2,025	109,501	24,477	24,456	21	< 6,542 >	85,024	26,915	14,610	6,498	23,162	12,389	1,449	
7年	111,921	50,384	14,314	< 6,280 > 44,922	2,301	111,921	22,915	22,897	18	< 6,280 >	89,006	25,865	15,982	6,993	26,411	11,990	1,765	
8年	112,325	49,758	15,726	< 6,443 > 43,822	3,018	112,325	22,483	22,469	14	< 6,443 >	89,842	25,126	16,188	8,415	26,361	11,248	2,503	
9年	109,901	48,339	15,252	< 6,266 > 43,736	2,574	109,901	21,564	21,551	13	< 6,266 >	88,337	22,966	17,119	8,422	26,406	11,327	2,097	
10年	92,056	37,161	11,146	< 6,299 > 42,140	1,609	92,056	19,331	19,316	15	< 6,299 >	72,725	18,597	10,582	6,082	25,721	10,541	1,201	
11年	97,810	41,178	13,705	< 6,166 > 40,956	1,970	97,810	18,762	18,737	25	< 6,166 >	79,048	18,787	15,081	8,181	25,295	10,144	1,560	
12年	99,260	40,946	13,825	< 6,537 > 42,186	2,303	99,260	18,019	17,987	32	< 6,537 >	81,241	18,018	15,913	8,424	26,661	10,320	1,904	
13年	91,245	37,087	13,074	< 6,319 > 38,706	2,377	91,245	16,757	16,722	35	< 6,319 >	74,488	15,942	14,340	8,423	25,104	8,659	2,019	
14年	88,125 (96.6)	34,856 (94.0)	13,226 (101.2)	< 7,174 > 37,607 (97.2)	2,436 (102.5)	88,125 (96.6)	16,075 (95.9)	15,980 (95.6)	95 (271.4)	< 7,174 > (113.5)	72,050 (96.7)	14,865 (93.2)	13,694 (95.5)	8,502 (100.9)	24,791 (98.8)	8,101 (93.6)	2,097 (103.9)	
15年	87,184 (98.9)	34,766 (99.7)	12,810 (96.9)	< 7,951 > 36,979 (98.3)	2,629 (107.9)	87,184 (98.9)	16,148 (100.5)	16,005 (100.2)	143 (150.5)	< 7,951 > (110.8)	71,036 (98.6)	14,398 (96.9)	14,088 (102.9)	7,897 (92.9)	24,337 (98.2)	8,022 (99.0)	2,294 (109.4)	
16年	当初見直し	87,361 (100.2)	34,315 (98.7)	13,082 (102.1)	< 8,638 > 37,191 (100.6)	2,773 (105.5)	87,361 (100.2)	16,729 (103.6)	16,530 (103.3)	199 (139.2)	< 8,638 > (108.6)	70,632 (99.4)	14,108 (98.0)	13,467 (95.6)	8,094 (102.5)	24,468 (100.5)	8,022 (100.0)	2,473 (107.8)
	見直し	88,952 (102.0)	34,787 (100.1)	13,800 (107.7)	< 7,879 > 37,567 (101.6)	2,798 (106.4)	88,952 (102.0)	16,625 (103.0)	16,426 (102.6)	199 (139.2)	< 7,879 > (99.1)	72,327 (101.8)	14,216 (98.7)	14,361 (101.9)	8,472 (107.3)	24,562 (100.9)	8,253 (102.9)	2,463 (107.4)

資料：平成2年～平成15年は林野庁「木材需給表」。平成16年当初見直しは平成16年3月、平成16年見直しは平成16年9月に策定した数値である。

注：1．輸入材のうち、製材、合単板、チップ、パルプ及びその他は、丸太換算材積である。

2．本表には新炭材及びしいたけ原木を含まない。

3．平成3年からは、輸入の構造用集成材が需要のその他用、供給のその他に含まれている。

4．< >内は、工場残材及び解体材・廃材を利用した木材チップの需給量であり、製材用等に丸太換算して含まれているため外書きとした。

5．()内は、前年比(%)である。

6．数値の合計値は、四捨五入のため一致しないものがある。